

NPO 法人 精神科作業療法協会 (POTA) 主催

精神科リハビリテーションにおける「般化」支援技術の研修のご案内

第5回「技能プログラミング：programming skill use」研修会 ～ 当事者のための般化の支援技術を学ぼう ～

精神科病院や精神科デイケアなどで、さまざまな生活能力(調理準備能力、疾病対処能力、社会資源利用能力など)を身につけるためのプログラムが実施されています。しかし実際の生活場面では学習したことを実施できていない現状があります。

ボストン大学精神科リハビリテーションセンターが開発した技能プログラミングという支援技術は、リカバリーの理念のもとに対象者と相談しながら学んだ技能を実際の生活場面に般化させるための支援技術です。センターが開発した研修方法に従って2日間で講義・演習を行い、ノウハウをしっかりと学びます。

一般精神科入院のほか、医療観察法、デイケア、外来作業療法、訪問などの幅広い対象者にこの支援技術が用いられています。本研修会ではそうした事例を紹介している事例集も配布予定です。一日目の夜には実際に臨床でこの技術を使用しているOTの事例報告会も予定されています(事例報告会の参加は任意。本研修参加者は無料)。

般化の支援を課題にしていらっしゃる皆さん、是非ご参加ください。

講師：村田雄一(国立精神・神経医療研究センター病院)、児玉和也(山梨県立北病院)

佐野智央(静岡県立こころの医療センター)

時間	1日目	2日目
9:00～	受講者受付開始	
10:00 ～12:00	『はじめに』概要の説明・DVD視聴	技術3『当事者の行動の支援』
12:00 ～13:00	昼食 (施設内ラウンジで飲食可・ 近隣にコンビニ・飲食店あり)	昼食
13:00 ～14:30	技術1『障壁の特定』	『演習』実際に患者さんを想定して 技能プログラミングを書き、 受講者同士で改善点を見つけます。
14:45 ～16:00	技術2『プログラムの展開』	『まとめ』 アンケート記入
18:00 ～20:30	事例報告会 参加任意・無料 (本会場隣接のセミナー室・別案内参照)	

開催日：2019年 7月6日(土)～7月7日(日)

会場：埼玉県地域医療教育センター 研修室 (埼玉県立小児医療センター南玄関側 8階)

JR京浜東北線、高崎線、東北本線 「さいたま新都心」駅 徒歩5分

JR埼京線「北与野」駅 徒歩6分

*どちらもJR大宮駅から一駅です。

所在地：さいたま市中央区新都心1-2

アクセスについては下記をご参照ください。

<http://kobaton-med.jp/static/img/educationcenter/access.pdf>

「参加申込み要領」

■募集人員 40名

■参加費 (事前振込み)

POTA会員 6000円

非会員 12000円

■申込み締め切り日

2019年6月29日(土)

申込み開始：5月1日(水)～

■申込み方法 (メールのみ)

1)本研修会申込み専用の

メールアドレス(skill@pota.jp)に

に空メールを送る(@pota.jpからの

メールを受信可能に設定してください。)か、

右のQRコードを読み込みます。

2)自動返信で申込みフォームのアドレスが送信されるのでそれをクリックします。

3)申込みフォームの必要事項を入力・選択し、送信します。

4)参加費の入金をお願いします。入金確認後、受付完了のメールをお送りします。

■参加費振込み先<振り込み口座> ジャパンネット銀行ビジネス営業部 (店番 005)

口座名 トクヒ ポタギノウ 科目 普通 口座番号 1919350

(注)*1 振込手数料が別途かかります。

*2 入金後のキャンセルの際、参加費の返金には原則応じられません。

*3 申込みが定員に満たない場合、当日参加も可能です。事前にお問い合わせ下さい。

*4 振り込み後5日以内に受付完了のメールが届かない場合、下記までお問い合わせ下さい。

■問い合わせ先 info@pota.jp (精神科作業療法協会 事務局)

*本研修会参加は、OT協会の生涯教育のポイント対象になります。

*同内容の研修会を2019年11月23、24日に広島大学で開催を予定しております。



小児医療センター南玄関(ホテルブリランテ武蔵野側)からエレベーターで8階にお上がりください(正面玄関からは入れません)

